

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている				
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年と来客数は変わらないが、物によっては動きが良くなっている。	
		商店街（代表者）	販売量の動き	・売上が増加してきている。	
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・早期に晩夏商材や初秋商材を展開し客にアピールした結果、ファッションに高感度な客を中心に反応が良く、売上も好調に推移している。	
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・売上はリビング関連を除いて前年を上回っている。 ・来客数は近くで開催されたイベントの集客効果もあり、前年を上回っている。	
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・8月前半はクリアランス商品目当ての客、中間は帰省中の客、後半は売上にはつながらないが下見の客が多く、ほどほどの売上がある。	
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・買物の仕方に活気や余裕のあるところがみられ、客単価が上昇している。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が増加してきている。	
		スーパー（店長）	お客様の様子	・衣料品等の動きが2～3月前と比較すると若干良くなっている。しかし本当に安くて価値のある物に関してである。	
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・来客数は対前年同月比105%前後で動いている。ただ、売上は対前年同月比で101～102%であり、客単価の低下が考えられる。	
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・対前年比売上は約98%と前月より改善はしているが、客の購買意欲はまだ横ばい状態である。	
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・特別招待会を実施すると、生活必需品がよく出るようになってきている。単価も下落には向かっていない。	
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・決算数字が伸びている。	
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・新築住宅受注数が微増している。	
		変わらない	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	単価の動き	・買い控え傾向はあるものの、価値ある物は買う行為が顕著にあらわれている。
			一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は変わっていないが、団体客が減少している。
			一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・今年は天候の関係でお盆の花が高騰し、単価が2～3割上昇している。
			一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・ギフト商品の売上は減少しているが、平日に総菜関係の売上は増加している。
			百貨店（経理担当）	来客数の動き	・来客数が若干増加しているが、まだまだ予断を許さない状況である。
			百貨店（売場主任）	お客様の様子	・夏物バーゲンには既に終わり、買い上げにならない。晩夏物、秋物もただ見ているだけで、購買にはつながらっていない。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・外商客に来店を促す声をかけても、なかなか来店してもらえず、販売に結びつかない状況が続いている。	
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・特売日の来客数は増加しているものの、それ以外の来客数は減少している。客は価格に非常に敏感である。	
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は前年並みであるが、客単価は対前年比95～96%と回復の兆しはみられない。食品メーカーの産地偽装や不正問題、農薬問題等、食品に対する不信任は募るばかりである。 ・客のニーズは二極化してきているものの、グレードの高い商品の売場対応が不十分で、安値競争が続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店員）	単価の動き	・季節商品、例えばサンマ等は回転はしているが、全体的な売上は前年比をクリアするのが精一杯である。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・天候は良かったにも関わらず、売上が対前年比100%に届く店舗が少ない。相変わらず客単価が落ち込んだままである。 ・花火大会などでも、昨年同様の人出でも客単価が低く、前年割れをおこしている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・新商品の効果が短くなっており、以前なら2週間くらいもったものが、1週間もたないうちに飽きられて、見向きもされない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・暑い日が続いたのに、水物の動きが悪い。アルコール飲料は、道路交通法改正の影響があるかも知れないが、清涼飲料水の売上も悪い。
		衣料品専門店（企画担当）	単価の動き	・全体的な販売量、単価に大きな変化はないが、先物ファッション商品の動きが早くなっており、単純なデフレ傾向からの変化がみられる。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の買物の仕方が厳しく、良質で単価の安い物を買求めている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・8月前半の暑さでエアコンが売れたものの、AV関係の動きが伸びていない。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・8月は台風等の天候の影響が大きく出ている。
		乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・他店との競争も単価の動きも、全体的に厳しく、良くはなっていない。他店でも経営をスリムにしたり、店をたたんだりといった話ばかりである。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・売上は対前年比100%を超えているが、点検代や車検代を安く済ませているため、プラスマイナスゼロになっている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客から買い替えの話は出てくるが、結論が出るまでに時間がかかり、立ち消えることも多い。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・今年度に入ってから来客数の10%程度の伸びが続いており、好調に推移している。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・有名企業の倒産続きもあって消費者の購買意欲は沈滞気味で、改善する気配は全くない。
		高級レストラン（経営者）	単価の動き	・単価が低いコースが定着している。 ・依然として会社経費の宴会が少なく、個人のお金で席を設けているようである。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・利用料金の低迷が続いている。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・例年はお盆休みの後は悪いが、今月は給料日や25日に客が集中している。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客、宴会、レストランとも利用客は一進一退であり、お値打商品のみ売れている。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・世の中が変わってきており、改革の成果が出始めている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・販売量は前年に比較して増加傾向にある。単価がもう少し上がれば、やや良くなる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前や1年前と比較しても良くなっておらず、底の横ばいである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・昨夏に比べて悪い状態で安定しているという人が多い。
		タクシー（営業担当）	来客数の動き	・相変わらず夜の街は閑散としており、客待ちのタクシーだけが目立つ状態である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・色々なサービスを出しているが、新しい物は二の足を踏まれ、まだまだである。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売台数は例年より落ちこまず、3か月前と比較して横ばいである。しかし、安価な商品の売上が8割以上を占めている。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・来客数は100%に近い数字であるが、客単価が低下している。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・3月以降は対前年比で来場者は増加しているが、土日祝日は減少傾向にあり、単価の低い平日の割合が増えている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・パーマを1か月に1回から3か月に1回にする等、客の周期が変わってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず来客数が少なく、減少数も大きくなってきている。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・どの店もキャンペーンや割引を行っているが、一過性のもので持続しない。
		設計事務所（営業担当）	それ以外	・経費節減で人件費がどんどん削られていく。受注状況も過去最悪である。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・下請業者の倒産は落ち着いているが、入居者の自己破産の申立てが継続的にある。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・客は必要品以外の買物をしない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の来客数が明らかに減少しており、当店においても来客数は極端に減少している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・暑い日が続いたのと台風の影響で、買物客は減少している。 ・ここ2～3年ほどは、暑い日でもビールや清涼飲料水、アイスクリーム等が売れなくなってきている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	単価の動き	・観光客の減少に加えて飲酒運転の罰則強化により、飲食での客単価は300円ほど低下している。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・中高年層の客が多く、慎重な買物傾向に変化がない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・8月に入り来客数が非常に減少している。
		百貨店（企画担当）	単価の動き	・秋物が出始めたが動きが悪い。気温がまだ高いので、秋色夏素材の商品が売れている。 ・今の時期はセール物が多いので、客単価は低い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・販売量、金額ともに、前年ないし3か月前と比べて、右肩下がりで落ちている。
		スーパー（店員）	単価の動き	・近隣に大型ショッピングセンターがオープンした影響もあり、特に客単価が低下している。
		スーパー（店員）	単価の動き	・野菜の値段が高騰しているが、客は単価の安い物を買っており、客単価の下落が激しい。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・対前年同月比で既存店の売上が5%減少し、客単価も4%低下している。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店との競争が激しく、限界にきている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数は比較的好調であるが、行楽関係を中心に季節品の販売状況が悪い。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・飲食店の売上が減少しており、店を早仕舞いするところもある。飲酒運転の罰則強化への対応が遅れているため、客足が遠のいている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・相変わらず低迷が続いている。
		衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・同業他社が販売経路や客先をますます減らし、撤退する兆しをみせている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は残暑の影響もありエアコン関係の調子は良いが、パソコン関係は悪い。
		自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・来客数は増加しているが、客単価がどんどん低下している。前月より売上を伸ばす努力も限界に来ている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量が対前年比で15%近く低下し、さらに低装備仕様車を中心となって売上単価が低く、利益確保を難しくしている。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・官公庁工事、民間設備投資のビル現場、個人の持ち家住宅等、全てが減少しているため、価格競争が相変わらず厳しい。
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	お客様の様子	・客の発注数はかつての半分となっており、発注回数がか細くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・連休の宿泊は例年並みであったが、週末の宿泊が減少している。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・予約の動きが悪くなっており、来客数が乏しくなっている。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・旅行は、「安近短」がどんどん鮮明になっている。		
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・キャンペーンを行なっているが、ほとんど通常月と変わらない状況である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の様子は以前と変わらず、費用削減を中心に動いている。また、安価なインターネット電話が出てきて、今後儲かる見込みがない。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・月初の猛暑の影響が来客数にかなり出ている。料金の割引等で各ゴルフ場とも集客に努めているが、大変厳しい。
		その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	販売量の動き	・例年のお盆時期に比べて当日券の売上が悪い。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数がだんだん減少してきている。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・あらゆる業種で、景気の良い話が全くない。
		住宅販売会社（企画担当）	来客数の動き	・分譲住宅のチラシ広告を毎週入れているが、来客数が少ない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・食品メーカーに対する不信の声をよく聞く。客は不信感から買物量を減らしている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食店の動きが相変わらず鈍い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年の夏より気温が高かったようで、荷動きが全く悪い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・客が自分の求める商品しか買わない傾向が、さらに強くなっている。
衣料品専門店（店員）		来客数の動き	・店では早くから秋物を投入しているが、暑さが続くため、秋物の買上につなげていない。	
高級レストラン（スタッフ）		それ以外	・食材生産者、供給者において安全性に関わる事故が多すぎる。新メニュー開発や販売促進の努力が水泡に帰してしまう。	
一般レストラン（経営者）		お客様の様子	・来客数が増えない。	
美容室（経営者）		お客様の様子	・暑すぎて客が外出を控えている。	
その他サービス〔珠算塾〕（経営者）		それ以外	・今後の見込みがたたず、新学期を区切りに廃業する同業者が多い。	
企業動向関連		良く なっている やや良くなっている	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き
	輸送用機械器具製造業（統括）		受注量や販売量の動き	・得意先からの受注量が、少しずつではあるが増加してきている。
	建設業（企画担当）		受注量や販売量の動き	・大型工事件情報は以前と変わらず無いが、中型工事件情報が若干始めてきている。ただし、全般的には一つ一つの工事規模が依然として小さく、かつ受注量も少ない状況が続いている。
	新聞販売店〔広告〕（店主）		受注量や販売量の動き	・チラシの伸びが続いている。流通業からの減少をサービス、不動産が補い、伸ばしている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売行きに変化がない。
		食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・小売業、卸売業への販売価格は、競争激化により依然として低下が続いている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の景気も回復せず、安値競争が続いている。
		化学工業（企画担当）	取引先の様子	・米国関係が非常に低調に推移している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2～3か月前の販売量と比べて、さらに落ち込んでいる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・本来秋は需要期になるのだが、例年と比較するとタイトルの注文の入り具合が遅れている。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量等に回復の動きはなく、地元の準大手土木会社の倒産のニュースだけで市場の動きが悪くなっている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は復調しているが、輸出があいかわらず不調である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は完全に横ばい状態であり、数%以内での増減状態を1年以上継続している。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・見積価格を目一杯下げても受注量が少なく、採算が合わない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・インフラ整備に関して3か月前から継続して受注、販売できている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・同業他社で倒産や組合等からの脱退が増えている。 ・受注数の盛り返しがあまりなく、単価も低いまま安定状態が続いている。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	受注量や販売量の動き	・対前年比で生産台数が横ばいである。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・輸送量が横ばい傾向であり、一部では依然として運賃の値下げ要請がある。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・法人事務所の引越は、対前年比で規模は大きくなっているものの、受注価格は横ばいである。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・当社のトラックへの月間積込台数はここ3か月間ほとんど変わっていない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・土地取引が減少している。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・下請企業各社では、そこそこは仕事はあるものの、単価が厳しい。
やや悪くなっている		非鉄金属製造業（社員）	取引先の様子	・取引先に関する良くない噂が最近よく聞かれ、それを引き合いに出して値下げ要請をされることもあり、価格の底がみえない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・今年度に入って、取引銀行各行から金利の大幅アップや各種手数料の増徴要求が出てきており、損益に与える影響が大きく対応に苦慮している。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・国内の縫製関連の設備投資が激減している。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注件数はかなり増加してきたが、発注単価が厳しい。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・クライアントからの受注量や金額等は相変わらず厳しく、広告予算はかなり削られている。
悪くなっている		公認会計士	取引先の様子	・大手メーカーが海外ソフトや内製化を高めているため、中小企業の受注が激減している。 ・半導体関連の下請業者の仕事が全く増加していない。 ・飲酒運転の罰則強化等により、飲食店の売上が激減している。
		非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注価格や販売価格の動き	・単価が非常に低下しており、量的にも減少している。売上が対前年同月比で減少している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は対前年比では昨年来100%を割っているが、3か月前と比較すると2か月連続で100%を超しており、下げ止まった感がある。 ・自動車関連産業が多い静岡県西部地区の業務請負や期間従業員募集が少し持ち直している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・8月の求人広告の申込は対前年同月比で約79%であるが、3か月前と比較すると約8.5ポイントのプラスとなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は3か月前と比較して0.07ポイント、前月より0.06ポイント上昇の0.73倍となっている。 ・製造業は輸送用機械器具製造業の海外需要が堅調に推移していることから、期間工等のまとまった求人があり増加している。しかし建設業、卸小売業、飲食業は相変わらず求人が少なく、厳しい状況が続いている。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は対前年同月比で15.8%の増加となっている。
人材派遣会社（社員）		採用者数の動き	・派遣の利用予定をとりやめたり、またその反対もあつたりと、一進一退である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		アウトソーシング企業（エリア担当）	求人数の動き	・ここ数か月続いた求人数の伸びは止まったが、求人は確保されていない。募集に応募する求職者数が依然として少ない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が数か月前から底をついているが、一進一退で上昇していない。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求職者数は対前年比でみて増加が続いている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業の整備情報を見ると、件数、人数が対前年比で減少していない。 ・離職者数は対前年同月比で増加している。自己都合離職者数より、事業主都合離職者数の増加幅が大きい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・老人介護等の福祉関連や飲食等のサービスに求人数の増加がみられるが、製造関連はマイナスである。 ・地元の準大手土木建築会社の倒産が県下の経済に波紋を及ぼしているが、今月はそれに伴う管内での目立った連鎖倒産はない。
		職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・新規求人、有効求人ともに横ばいで、求職者が滞留している。
		民間職業紹介機関（エリア担当）	求人数の動き	・求人数は少しずつ増加していたが、現在は足踏みしている。
やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣の需要増加はみられない。また、契約更新時には値下げ要求が増加している。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・拠点の統廃合といった、名古屋から事業所や業務を撤収する動きがみられる。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・非自発的離職者数の増加がみられる。また、早期退職や勧奨退職を募る企業が見受けられる。
悪くなっている		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新規の派遣受注が大幅に落ち込んでいる。